令和７年度　全国学力・学習状況調査　小学校６年生算数　大問３（２）

大問３（２）の趣旨

分数の加法について、共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

授業プラン：第４学年　A（５）同分母の分数の加法、減法

第４学年における分数の計算の学習が、単に「分子の数を足す・引く」という形式的な数の操作に偏らないようにしましょう。本授業プランは、整数や小数、主に真分数の分数の足し算・引き算の学習をもとにして、仮分数を含む分数の足し算・引き算についても「もとにする数（単位分数）」とその「いくつ分」に着目してとらえ、説明できるようになることを目指します。

数の表記の仕組みと計算の仕方を関連付けて統合的にとらえられるようになることを目指し、次の２点に留意しています。

〔分数の足し算、引き算の仕方を既習の学習と関連付けて理解する〕

３年生で学習した同分母の足し算、引き算（主に真分数）の計算の仕方（例：1/4 をもとにして考える）を、仮分数を含む同分母の分数の足し算、引き算（例：4/5+3/5＝7/5）に拡張します。その際、図や数直線を用いて視覚的に分数の大きさをとらえられるようにします。とくに、「１の大きさ」を確かめてから「単位分数の大きさ」を確認すること、「単位分数の大きさ」を確かめてからその「いくつ分の大きさ」をとらえるなど、基準となる大きさを確認しながら分数の大きさをとらえることを大切にします。

また整数や小数で学習した「もとにする数」に着目した計算の考え方（例：0.2+0.3 は 0.1 をもとにして２+３）とのつながりも確かめ、数の計算を統合的に理解できるようにします。第２学年から「もと」をとらえることを学習します。それぞれの学年の学習内容のつながりを授業者が意識するようにしましょう。

〔誤答を生かし、つまずきの背景にせまる〕

本授業プランでは、児童が陥りやすい誤答（例：4/5+3/5=7/10）を取り上げ、「なぜ正しくないのか」を追究する場を設定します。誤りの原因をとらえる中で「分母を足すことで単位分数（もとにする数）の大きさが変わってしまった」など、「もとにする数」に着目できるようにします。誤答を生かし、その背景にせまる中で正しい理解につなげるようにしましょう。

本授業プランでは、取り上げた誤答に対し、「4/5+3/5＝7/5 になることを、よしおさんに説明できるようになろう」というめあてを設定します。そして、筋道だった説明につながる話型として、全国学力・学習状況調査解説資料を参考に「①被加数の分数が単位分数の何個分かを表す数や言葉、②加数の分数が単位分数の何個分かを表す数や言葉、③単位分数をもとにした、分子の数を足すことを表す式や言葉、④結論としての和の数」と設定し、子どもに示します。筋道だった説明を考えることを通して、分数の計算の仕方を論理的にとらえることができるようにします。

授業プランにかかわる既習事項

・1/2、1/3 などの簡単な分数

1/2 や 1/3 など簡単な分数について知り、元の大きさに着目し、数の大きさについて考え、日常生活に生かす。

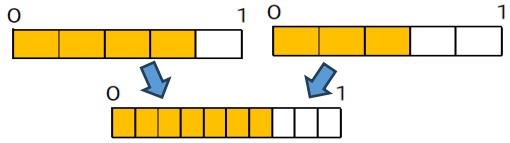
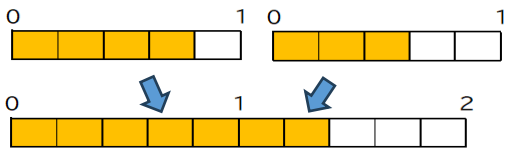
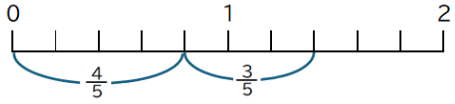
・分数の意味と表し方

１より小さい分数について、数のまとまりに着目し、分数でも数を比べたり計算したりできるかどうかを考える。

ねらい

・単位分数の個数に注目して、分数の加減計算を既習の加減計算の仕方を基に考え、説明することができる。

東京書籍　12 月上旬～12 月中旬　新しい算数４下　　44ｐ
啓林館　　１月下旬～２月上旬　わくわく算数４下　75ｐ
教育出版　２月下旬～３月上旬　小学算数４下　　124ｐ

学習活動	支援（◇評価）
1　同分母分数の加減計算の仕方を復習する。 ⑴　2/4+1/4　　⑵ 6/8-4/8 ・⑴1/4 をもとにして、２＋１で 3/4 ・⑵1/8 をもとにして、６－４で 2/8 ・３年生で勉強したね。	・「もとにする数」に着目して計算を考えた学習を想起できるよう、３年生の分数の足し算（計算で扱う分数が真分数になる場合）に取り組み、計算の仕方を確認する。
2　問題の場面とめあてを確認する。 「4/5m と 3/5m のテープがあります。あわせると何 m になりますか。」という問題に、よしおさんとみれいさんは、それぞれ次のように考えました。 よしお　:4/5＋3/5=7/10　　答え　7/10m みれい:4/5＋3/5=7/5　　答え　7/5m ・よしおさんは、まちがっているよ。 ・みれいさんの答えが正しいね。	・和が１ｍを超えることに見通しをもつことができるよう、4/5m と 3/5m のテープを用意し提示する。 ・4/5+3/5 の計算の仕方を図や式、言葉を使って考えることに見通しをもたせ、めあてにつなげる。
4/5+3/5＝7/5 になることを、よしおさんに説明できるようになろう。	
3　二人の考え方を整理し、分数の足し算の仕方を考える。 【よしおさんの考え方について】 ・よしおさんは、分母も足している。 ・式と答えで「もとにする数」が変わっている。式は「もとにする数」が 1/5 になっていて、答えが 1/10 になっている。 ・図に表す。  ・答えが１より大きくなっていない。 【みれいさんの考え方について】 ・図に表す。  ・数直線に表す。  	・自分の考えを明確にすることができるよう、「個人で考える→グループで話し合う→全体で共有する」という順で活動を進め、一人一人が自分の考えを表現できる機会を設定する。 ・考えを整理しやすくするために、ワークシートを用意し「よしおさんの考え方について（間違っているところ）」と「みれいさんの考え方について（正しい考え方）」の２つの視点から考えられるようする。 ・「もとにする数」の大きさを意識できるよう、「1/5mは1mを5等分した一つ分」、「1/10mは1mを10等分した一つ分」などの単位分数の意味を確かめたり、1mの大きさと比べたりする。 ・分母の大きさによって長さが変わることを理解できるよう、実際の 7/5m と 7/10m の長さを比べ確認する。 ・「1/5 が何こ分かで考える。」について、次の学習活動（説明の言葉を考える）につながるよう話型（①被加数の分数が単位分数の何個分かを表す数や言葉、②加数の分数が単位分数の何個分かを表す数や言葉、③単位分数をもとにし

・1/5 の何こ分かで考える。 4/5 は 1/5 が４こ分、3/5 は 1/5 が３こ分 4/5+3/5 の計算は、1/5 をもとにすると、4+3＝7 を使って考えることができるので、1/5 が 7 こ分で 7/5 になる。	た、分子の数を足すことを表す式や言葉、④結論としての和）を示す。
4　分数の足し算の仕方をまとめ、よしおさんへの説明の言葉を確かめる。 （まとめ）4/5+3/5 は 1/5 をもとにすると、4+3 の計算で考えることができる。 4/5mは 1/5mが４こ分、3/5mは 1/5mが３こ分。4/5+3/5 の計算は、1/5 をもとにすると、4+3＝7 を使って考えることができるので、1/5 が 7 こ分で 7/5 になる。	・よしおさんへの説明の言葉を一人一人が考えることができるよう、学習活動３の話型にそってよしおさんへの説明を考える。 ・答えが仮分数になっても、「もとにする数」の何個分で考えられることを確認する。 ・10 や 0.1 を「もとにする数」にして考えた整数や小数の計算との統合を図り、分数の計算について理解を深める。
5　分数の足し算の仕方をもとに、引き算の計算の仕方を説明する。 問題　7/5－3/5 ・7/5 は 1/5 が 7 こ分、3/5 は 1/5 が３こ分 7/5-3/5 の計算は、1/5 をもとにすると、7-3＝4 を使って考えることができるので、1/5 が 4 こ分で 4/5 になります。	・「もとにする数」に着目して分数の引き算の説明を足し算の場面と統合的にとらえて考えることができるよう、7/5－3/5 が 4/5＋3/5=7/5 の検算の式となっていることを確認し、学習活動３で用いた図で考える。 【思考・判断・表現】 単位分数の個数に注目して、分数の加減計算を既習の加減計算の仕方を基に考え、説明することができる。【ワークシートへの記述等：出題、解答の方法による】
6　本時を振り返る。 ・仮分数の足し算、引き算について、３年生の分数の足し算、引き算と同じ考え方で計算できた。	

【評価問題活用場面】

・評価問題は、授業後の課題、家庭学習の課題等で活用することを想定している。